

令和6年度 第3回苫小牧市民文化芸術審議会 会議概要

日 時：令和7年3月25日（火）13：28～15：08
会 場：苫小牧市役所第二庁舎2階 北会議室

出席委員：居島委員、川山委員、坂井委員、佐竹委員、中川委員、
中田委員、松原委員、南(史)委員、南(正)委員 計9名

欠席委員：宮川委員 計1名

事務局：園田教育部長

生涯学習課 河本課長、斉藤課長補佐、小林主査

1 開会 （進行）河本課長

2 議事 （進行）坂井会長

（1）令和6年度苫小牧市民文化振興助成事業の報告について

- ・令和6年度助成内定21事業のうち、内定取下げとなった1事業、助成金が減額となった10事業について事務局より報告（小林主査）

<質疑>

特になし

（2）令和7年度苫小牧市民文化芸術振興事業の申請について

- ・令和7年度助成事業の申請16件について、事務局より説明（小林主査）

<主な質疑>

会 長：今回、16件ということでひとつずつ決めていきたいと思います。
まず、1番の「苫小牧美術協会」ですが、事前評価では「良い」評価が3つです。特にご質問等なければ内定でよろしいでしょうか。

委 員：いいと思います。

会 長：それでは内定いたします。では、2番「新道展公募展」、こちらについていかがでしょうか。こちら事前評価では「良い」でしたが。

委 員：1番と同様に地元の人に作品を見てもらう機会ということで良いのではないのでしょうか。

会 長：他にご意見がなければ内定いたします。3番「U-20若者美術展」ですが、1点、「継続的な若者の発掘・発展にはつながりにくいのでは」といったご意見もございますね。運搬費もちょっと高い感

じもありますね。

委員：応援したいなと思いますけどね。

会長：そうですね。こちらは内定でよろしいでしょうかね。

委員一同：はい

会長：4番ですね。「横山瑠佳&福井萌デュオリサイタル」です。地元出身の演奏家を支援するという観点では、3年程度の期間が妥当と思われると言ったご意見もありますけど。

委員：苦小牧出身のアーティストということで応援したいという気持ちはあるんですけど、これ（補助）がずっと続くのかなって疑問を感じただけなんですよね。もうプロでしょうし。

委員：これ去年やってみましたっけ。

事務局：去年は、会場の空き状況とお二人のスケジュールが合わなかったため開催されていません。一昨年とその前年の2年開催されています。

委員：そのときに、二人とも実家に泊まればいいよねって話が出ていて。今回は予算に宿泊費ないから、事務局から伝えたんだよね。

事務局：伝えさせていただいています。

委員：あと出演料5万円ってどうなんですかね。現在はプロとして活躍されていますけど。多分、さっき出た話はもうプロなんだから、しっかり入場料を取って助成金に頼らないで興行としてできるんじゃないかってところだと思います。

委員：3年っていうのはどうなんでしょうかね。興行として実施するための準備期間として。この後審議するなかにも続けて開催されているものがありますよね。

委員：去年も5年経ったら自立した方がいいんじゃないかって話が出たんですけど、この助成金はより多くの人に使ってもらって市民に還元させたいってことで、助成期間を設けることはなくなったと思います。実際、何年がいいのか決めるは難しいです。

委員：参考までにですが、こういったクラシックの演奏家の入場料って一般的にどのくらいなんですか。

会長：出演者にもよりますね。

委員：アマチュアとプロでももちろん違いますけど、有名なところだと5千円とかですかね。でも苦小牧だと5千円だと集客できないような話もあります。今回の二人は2千円ですけど、二人とも一生懸命やってて若いですけど実力もありますし、いいと思いますけどね。

委員：学生は500円と格安にしていますしね。

会長：他にご意見ございますか。チケットが売れば自己資金でもできるかなって感じもしますが。ただ総意としては応援したいってことですよね。

- 委員：ちょっといいですか。入場料をいただくものに対して助成することが初めから違和感があって引っかかってはいるんですね。入場者数のチェックというチケットが何枚売れたかっていうのはどのようにわかるのでしょうか。
- 会長：それは実績報告書に記載されてきます。
- 委員：実際の入場者数より少なく報告されることはないのでしょうか。
- 委員：事務局の担当が実際に行っていますから、そこは大丈夫です。それと、予算よりもチケットが売れたら補助金下がります。今回はあくまでも目安ってことで考えてもらえればいいのかと思います。
- 委員：わかりました。チェック体制だけ気になったので。
- 会長：気になるところですよ。他に皆さんどうでしょうか。
- 課長：若干補足してもよろしいでしょうか。助成するのは経費の半分で残りは自己負担という形になりますし、チケット販売については、聴く側にも費用を負担してもらおうということで特に問題はないです。また、補助金を使うことで入場料を安くできるのであれば、市民の皆さんにもプラスにもなりますし、そこがひとつ大事なところかなと思ってはいます。確かにチケット収入で全部賄えるのがベストで本来の姿かと思いますが、チケットが売れないと出来ないことになりますので、そこは助成を使ってもらって、いい演奏だったりお芝居だったりを市民の方が見れることがプラスになるのかなと考えております。
- 会長：ありがとうございます。
- 委員：入場者数が少なかったら自己負担が増えますし、多ければ補助金が減額されますしね。
- 会長：事務局から申請者に審議会での話を伝えることはできますか。
- 事務局：交付申請の際などに伝えることは可能です。
- 会長：それでは伝えていただくこととして、今回は内定ということによりよろしいでしょうか。
- 委員一同：はい。
- 会長：それでは、5番の「活性の火」です。クラウドファンディングや協賛金、駐車場収入などいろいろあるなかでの助成金となっています。正直自立できるんじゃないかなって気もしていますけど。実際、行って見たことある方いらっしゃいますか。
- 委員：遠巻きに見たことはあります。確かに活性化していますよね。
- 委員：好き嫌いは分かれるかと思いますが、軽音楽の発表の場としては当事者にとっては貴重な機会になっているでしょうね。
- 委員：ちょっと教えていただきたいんですけど、前は予算と決算で金額って結構変わってるんですかね。

- 事務局：前回の総事業費ですが、予算額は511万円、決算額は約550万円となっています。収入は予算額382万円で決算額もほぼ同額となっています。
- 委員：これまでも必ず自立してほしいって話が出てきて、前回は条件付きで認めていたんだけど、今回も申請してきたってことは助成金が必要ってことなのでしょうね。これまで指摘してきたところは若干だけど修正されてきてはいるとは思いますが、さっき話にも出てた地元の軽音楽の発表の場にもなってるから枠をもっと増やしてくれたらいいと思う。外から呼んでばかりだと興行じゃないのかって話にもなるし。申請者も助成金の趣旨をだんだん理解してきているようだし、そこを皆さんどう考えるかなってところだと思います。
- 会長：疑問点があれば申請者を呼んで審査会を開催する方法もありますけれども。
- 委員：例えば、ライジングサンってチケットが何万円もしますが、それでも道外からもたくさん人が集まっているんですよね。この「活性の火」に来る人たちはやはり無料だから来るんですかね。将来的にも無料って形でやっていくのか、それともライジングサンのようにチケットを販売して広げていくのか、どうなんですかね。
- 事務局：申請者には無料で開催することによって多くの方に気軽に来ていただきたいという思いが根幹にあるようですので、今お話しにありましたライジングサンのように入場料を取ってということは考えていないのではと思います。
- 委員：やはりそうなんですね。助成金に頼ってやっていきたいと。
- 事務局：後は協賛金を増やすですか、クラウドファンディングをもっと活用するとかはお考えだとは思いますが。
- 委員：その他収入の額って知らされているんですか。
- 事務局：実績報告の際に書類としていただいています、そちらで確認しています。
- 委員：500万って規模の事業ですから、40万なくてもできるんじゃないかっていう感覚になるんです。でもこうやって申請してくるってことは意味があるんでしょうね。文化芸術振興に貢献している証拠になるんだってことなのでしょうね。
- 会長：物販収入もあるんじゃないかなと思うんですけど。
- 事務局：物販につきましては、例えば出演者がCDやTシャツなどを販売するものですので、実行委員会の収入になるものではないと確認しています。
- 委員：これからも申請はするんでしょうね。まちなか再生の補助はもう絶対もらえないんですかね。

事務局：補助事業自体が終了したと把握しています。

会長：ほかにご意見ございますか。このまま内定とするか、審査会を開催するかになるかと思いますが。

委員：今年はいいよじゃなくて、今後の方向性を決めていかないとならないんじゃないかな。

委員：かなり大きな事業で市の活性化にも貢献していることもあるので、わたしはいいのではと判断しました。

委員：「文化芸術振興」というところを大きくPRしてもらって、より活性化してもらえるといいかな。

会長：交付要綱第3条第2項（2）の「営利を目的とする事業」に当てはまるんじゃないかなって気もしますけど。ちょっと一旦飛ばします。次、6番の「わたしたちに祝福を上映会」です。

委員：映画の上映会が文化芸術の振興になるのかといった視点があるかと思いますが、資料を見ると芸術的な作品で文化的な要素を感じたの内定でいいのかなと思いました。ろう者の方が監督で全国各地で上映会を重ねていて、優生保護法といったタイムリーな内容もありますし、個人的には興味があります。

委員：わたしもこれはいいと思います。

会長：それでは内定とします。7番「全道美術協会 苫小牧地区展」。

委員：2番と同じ考えでいいのではと思います。会員さんの作品を見てただけるところで。

会長：内定といたします。続いて、8番「縄文時代に関する講演会」です。これも毎年開催されていますね。事前評価では「良い」という意見が2件あります。

委員：縄文遺跡である静川遺跡を抱えている苫小牧での市民による活動なので続けてほしいなと思います。千歳のキウス周堤墓群が何年前かに世界文化遺産に登録されましたよね。静川遺跡も登録を目指して頑張っていたきたいなと思います。

会長：他ご意見ございませんか。なければこちら内定といたします。次、「アール・ブリュット in 苫小牧」です。

委員：頑張ってもらいたいですね。

会長：ご意見ございませんか。こちら内定ということで。次、10番「夜会シリーズ」、11番「ルーランド・デュイ」と同じような感じですがけれども。どちらも苫信が会場で無料となっています。助成金はほぼ謝礼にあてるといことですね。

委員：バイオリン謝礼12万円ってすごいですね。

会長：演奏時間が40分くらいですからすごいですよね。

委員：ルーランドさんって、去年も来てますよね。

事務局：去年も実施しております。

委員：毎年同じ人に出演料として補助するのはどうなのでしょうね。

委員：入場料無料ですよ。苦信だから入場料取れないもんね。

事務局：そうですね。

委員：苦信じゃないところでやって入場料取ればいいんじゃないのって話もありますけど。これもちよっと後にしましょうか。

会長：そうですね、後にしましょう。では、12番「堀井美香朗読会」です。元アナウンサーの方ですけど出演料が高額ですね。

委員：以前、小樽市でも開催されていたようですが、とても上手で朗読会では名が知られていて、ひとり芝居のような感じのようですね。

委員：これを苦小牧でやる理由って出てましたっけ。

委員：小林多喜二の関係ですかね。

委員：作品が「母」だからですね。

委員：三星ですもんね。

会長：事前評価では「興行ではないか」という意見もあります。事務所スタッフの人件費や旅費なんか計上されているので、完全に興行なんじゃないかなって感じもしますけど。

委員：興行だよ。

委員：そうですね。

委員：この事業に関心はありますが、営利事業になるのかなって感じはしますよね。

委員：ちょっとダメかもしれないね。文化芸術振興には合うと思うんだけど、事務所絡みだよ、これ。

会長：これは要綱第3条第2項(2)「営利を目的とする事業」に該当するというので助成対象外でよろしいでしょうか。

委員：事務局いいですか。営利目的ではないって言われたらどうしますか。

事務局：先ほど課長からも話がありましたけど、経費の半分は自己負担になりますので、営利目的という理由では事務局としての説明は難しいところがあります。

委員：そうだよ。

課長：ちょっと引かかるのは事務所スタッフにかかる経費、日当とか旅費がどうなのかなってというのは感じるどころです。

事務局：例えばですけど、そこの部分は対象外経費とするですか、審査会でご判断していただくという方法もあるのかなと考えております。

委員：ちょっと確認なんですけど、スタッフが付いてくるってなるとどこまで経費としていいんでしょうかね。

課長：事務所の営業っていう感じはしますよね。ですから、ボランティアでスタッフが入るとかやり方はあるんじゃないかなと思います。

委員：そうですよね。事務所の収益に見えますよね。堀井さん個人の経費はいいけどスタッフの経費は除いてもらって。申請者がそれでよければ申請してもらって感じですかね。

会長：それでよろしいですかね。

委員：朗読会で300名って集客難しそうな感じはしますけどね。

事務局：入場者見込数については定員の6割を見込んで入場料を算出することとしていまして、申請者ご自身も難しいかなとおっしゃっていた部分ではあります。

委員：わかりました。

会長：続きまして13番「MUSIC CIRCUS in TOMAKOMAI」で助成希望額50万ということですけど。

委員：入場料収入1500円×50人ってことですけど、アイビーの定員の6割の180人で計算しないの。

課長：高校生以下は無料ですので。

委員：その分も合わせて6割になっていればいいのか。

会長：デザイン料、動画編集なんかが高額ですね。事前評価では「文化芸術の発展に寄与するとは考えにくい」といった意見もありますね。

委員：文化芸術で出演予定者に楽しんごがいるんですね。あまり結びつかないけど。

会長：市内のアーティストも出演するというので。

委員：ダンスとか吹奏楽を予定しているようですね。これ前回も申請あつて対象外にしたんでしたっけ。

事務局：前は追加募集で申請がありまして、助成対象としています。

会長：前回、入場者数少ないですね。75人しかいないですね。

委員：これ事務局で見に行ってますか。

事務局：当日何う予定でしたが、都合が付かず伺っておりません。

委員：予算は前回とだいたい一緒なんだね。

事務局：そうですね。前回、準備期間が短く開催周知が不十分だったと申請者も反省されているところではあります。

委員：入場料収入が7万5千円に対して、全体的に経費かけすぎなんじゃないかなって感じがするんですよね。

事務局：高校生以下は無料で実施するんですけども、どちらかといえば若い世代、高校生以下の集客をメインに考えているようですので入場料収入は少なくなっております。

会長：全体の経費の割に出演料は少ないですよ。

委員：照明とか音響で10万円ですけど、こんなにかかるものなんですか。

委員：これレンタルですよ。アイビーの備品だったらここまでかからないです。

- 委員：レンタルなのはわかるんですけど、こんなにかかるのかなって。
- 委員：オペレーター費用も入ってますし、機材をどこから持ってくるんでしょうね。業者に任せてるんでしょう。そこまで必要なのかっては思いますけど。これも興行でやればいいんじゃないのって助成金出せませんねってなりますよね。会場費もこんなにかからないんじゃない、アイビーだし。
- 事務局：入場料を徴収するのでこの金額になることを確認しています。
- 会長：審査会やりますか。
- 部長：実はわたし当日見に行っていて、長い時間開催されていて、客が結構入れ替わっていましたが、圧倒的に高校生以下が多かったです。
- 委員：どのような方が出演されていたんですか。
- 部長：市内アーティストですとかいろいろ出演されていました。先ほど機材の話も出ていましたが、楽器を使わないで口でドラムのようなリズムを披露される方もいて、スピーカーから重低音が響いていた印象です。
- 委員：そんなに長時間やるような内容なんですかね。
- 部長：正直わたしも1時間くらいしかいませんでしたけど、その中でもいろいろな方が出演されていて、それに合わせて客が出入りしている感じでした。
- 委員：皆さんも一度見に行った方がいいかもしれませんね。
- 委員：正直、計画書を見ても効果がよくわからないし、予算も動画作成だとかにもものすごく大きい金額かけててどうなのかなって思ってたんですけど、今お話し聞いたら高校生なんかが入れ替わり立ち替わり入ってるっていうことできちっと周知しているのかな。
- 事務局：動画編集などの部分については事務局から申請者には指摘はさせていただいて、これくらいかかるんだというお話でしたが、やはり審議会でも同様の指摘があったことを申請者に伝えることは可能かと思います。
- 委員：今、事務局から話があったようなことを対応してもらうしかないかな。前回の追加申請のときも同じような話してますよね。
- 会長：それでは事務局にお願いして内定ということでもいいでしょうかね。では、次に14番「Mokk Guitar Lab -アコギ好きが作る体験と音楽のイベント-」です。結構長時間やるようですね。
- 委員：予算的にはきちんと理解してくれている印象ですよ。
- 会長：ヤイリギターの宣伝のように見えるとの意見もありますけど。
- 委員：この申請者の方でどのような方なんですか。
- 委員：いろいろやられているみたいですよ。この方がギター好きなんじゃ

ないですかね。

会長：他にご意見等ありませんか。なければ内定ということで。次、「苫小牧市民映画上映会」ですけれども、こちらどうでしょうか。よろしいでしょうか。特にないようですので内定でよろしいですか。

委員：よくわかんないんだけど上映料ってこんなにかかるものなんだね。

委員：1作品5万円ってところなんですネ。

会長：最後16番「朝倉さやコンサート」です。こちらも出演料が高額になってますけど、会場使用料とかは安いですよネ。

事務局：出演料について補足させていただいてよろしいでしょうか。資料の差替が間に合わなかったのですが、申請者から出演料について80万円から60万円に減額になったとの連絡がありましたので、助成希望額もこれにあわせて27万円から17万円と変更になりますので、こちらでご審議いただければと思います。

会長：了解いたしました。助成希望額17万ということですね。

事務局：はい。それ以外の変更はございません。

会長：ご意見ございますか。

委員：伴奏者入れて60万円ってことですよネ。

事務局：はい。お二人の出演料となっています。

委員：この人を呼んで、この人に歌を聴いてほしいってことなんですよネ、申請者としては。民謡で優勝されている方なんですよネ。

委員：申請者は東北、東日本大震災の関係で一生懸命活動してますよネ。

会長：ご意見ございますか。なければ内定ということで。あと残っているのが5番「活性の火」と10番「夜会シリーズ」、11番「ルーランド・デュイ」です。まず5番についてどうしましょう。規模が大き過ぎて内情がわからない感じですけど。

委員：これまでずっと話があったところはちょっとずつ修正してきてるし、軽音楽の発表の場として出演者として市内の団体をもっと呼んでほしいってことと、文化芸術振興というところをもっと前に出してもらって当日を迎えてほしいと代表者をお願いして、今後やってほしいってところですかね。

委員：そうですね。それしかないですよネ。

会長：それでは事務局から伝えていただいて内定としてよろしいですかね。

委員：助成額って毎年下がってきてるんだっけ。

事務局：そうですね。下がっています。

委員：今後もその辺は考えてもらってですかね。

会長：それでは10番と11番ですよネ。

委員：会場変えて入場料とってできないのか聞いてみたら。今回は難しいだろうから、次回以降になるだろうけど。

委員：そうですね。

委員：事務局から言っていただいて、今回は内定ということでもいいんじゃないでしょうか。

会長：それでは10番「夜会シリーズ」と11番「ルーランド・デュイ」について、今回は内定ということにします。

委員一同：はい。

会長：それでは、助成対象外の話が出たのは12番だけですね。これについては、対象経費を整理してもらってということで。5番、10番、11番、13番については、審議会での意見を事務局から申請者に伝えていただく形で審査会は行わないことでよろしいでしょうか。

事務局：12番についてはスタッフにかかる経費を対象外とするということでもよろしいでしょうか。

会長：そうですね。

※令和6年度の要望事業16件の内定について、了承を得る。

- (3) 第3次 苫小牧市民文化芸術振興推進計画 策定スケジュールについて
・策定にかかる今後のスケジュールについて事務局より説明（小林主査）

<質疑>

特になし

(4) その他

特になし

閉会 15時08分